

進について

きてする乾布摩擦、
などで、50年以上に
ます。
なる中で超高齢化
の健康維持には、
だと思ひます。



すぎの
杉野さん (80代)

市長から

不摂生を続けている私にとって、杉野さんのおっしゃることは、思い当たることばかりです。私自身も健康維持については今からでも遅くはない、これから頑張らましよう、ということでお聞きしました。ありがとうございます。



思いが かせる!

イン
ム2012 in 厚別
紹介します~

総務企画課広聴係 ☎895-2428

除雪の仕方に不公平さを感じます

除雪後に残されていく雪の量が、向かいの家より3倍くらい多いので何とかしてほしいです。
(60代・女性)

市長から

札幌市では、より有効に除雪ができるよう「地域と創る冬みち事業」を実施しています。地域における除雪の課題については、町内会を通じて、土木センターや除雪業者と一緒に議論を進めていきたいと思ひます。

人と人とのつながり



やました
山下さん (40代)

ハンディキャップの有無にかかわらず、自分でできることは自分でやる。できないことはできないで助けてもらう。みんながそれぞれ協力し合ってやっていると、もっといろいろな所でつながりを深めていくことができるのではないと思ひます。

市長から

視力や聴力が弱まるなど、誰もが最終的にはハンディキャップを持ちます。それを道具で補いますが、最終的には人です。いろいろなサポートを受けるためにも、自分ができるときには自分のことを。そして余裕があれば誰かのために。そんな関係をつくっていければうれしいです。



皆さんの声で、 厚別をよりよいまちに。

まちづくりに対する皆さんのご意見をお聞きするために、今年もふらっとホームを開催します。開催時期が近づきましたら、無作為抽出された皆さんに案内文をお届けしますので、参加のご検討をよろしくお願ひいたします。また、ふらっとホームの傍聴は自由ですので、案内文が届かなかった方も、会場で意見交換の様子をご覧になり、まちづくりについて一緒に考えてみませんか。今年の開催日程などは、広報さっぽろでお伝ひいたします。

あなたのご意見をお寄せください

ふらっとホーム以外でも、厚別をよりよいまちにするための皆さんからのご意見、ご提案をお待ちしています。

総務企画課広聴係

☎895-2428 FAX895-2403
〒004-8612 厚別区厚別中央1条5丁目3-2

インターネット市政提案

<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/goiken/index.html>

誌面に掲載した以外のふらっとホームの対話内容、過去開催の内容はホームページでご覧いただけます

<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/joho/towntalk/index.html>

き教室を有効利用

を、地域の集いの場所として使っているこれをもっと活発にすると、地域のコミュニティ深まり、高齢者の健康維持や生きがいではないでしょうか。に合わせて学校に大人が集まれば、いじめがあるのではないかと、思ひます。

用する
の時間
活動が
近くに
生かし、
す。

